



快適住まい

さいたま
住宅生協
2018.1
No.94

発行・さいたま住宅生活協同組合 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-10-12 TEL048-835-2801 フリーコール0120-502-817-www.houscoop.or.jp

信頼の住まいづくり

新たな年を迎え さらなる峰に挑戦



理事長 後藤晴雄

組合員のみなさまにはご健勝にて新たな年を迎えられたことお慶び申し上げます。
今年も厳しい経済状況が続く中で、安定した経営を継続することで新たな峰を目指していきたいと思えます。組合員のみなさまのさらなるご支援ご協力をお願いいたします。

さいたま住宅生協の組合員に向けた最大のサービスとして、無料住宅診断を行っています。安心して住み続けられる住まいのためにも診断は大切です。今お住いの住宅を19項目にわたり専門家がチェックします。

今年の診断要望は昨年、一昨年と比べて要望件数が半分ほどになっていきます。それでも176件寄せられます。

ワンランクアップを目指します

2017年10月末現在組合員数は、2万5千人を超えました。さらにサービスの充実を進めていきたいと考えています。

生活協同組合としての活動も、

ました。要望の減少原因は、2年前から組合員全員対象にした要望の受付を行いました。それ以前は、2年に1度の受付でした。そうしたことを受けて、新たに組合員になった方を除き、要望をお聞きする活動が、一巡した形となり、安心して住まいいただける状況が作り出されてきていることではないかと分析できます。

独自の取り組みとして実施し、組合員が参加する事業や、ブロック別に要望をお聞きする地区別懇談会活動などを進めていきたいと思えます。

2017年度無料住宅診断希望診断箇所の傾向

	2015年度	2016年度	2017年度
住宅全体	46	60	20
外壁	42	37	20
屋根	28	25	28
雨漏り	11	10	3
水回り	10	9	10
耐震性	9	23	5
基礎	9	11	10
ベランダ	7	6	5
外部	7	3	11
床劣化	7	4	4
内壁内装	5	9	0
雨樋	4	12	16
雨戸	3	1	0
建具	2	7	10
床の傾き	2	8	0
タイル	1	0	0
ねずみ	1	1	0
設備機器	0	7	1
シロアリ床下	123	73	33
合計	317	306	176



ライフスタイル に合わせた家づくり



▲戸襖を開けると一体的になる和室と居間



暮らしにあわせた家づくり

川越駅から車で15分、川越市府川の閑静な住宅地にある白倉邸。奥様が嫁いで45年、ご主人の母親が亡くなった時、敷地いっぱい大きな家に建て替え、当時は夫婦と子ども3人、ご主人の父親の6人暮らし。当時の家の間取りは、1階が6帖の部屋が2室、8帖の居間が2室と食堂、2階に5部屋で53坪の大きな家でした。今の家族構成は、ご主人が3年前に他界、子ども2人が結婚をしてそれぞれ独立、今は母と息子の二人暮らしです。

二人暮らしで家を建て替えるきっかけになったのは、このままだと最後に息子一人になり、大き

な家を一人で抱えきれないという思い、以前の家は床下が土なので、すぐジュークジュークしていたこと、家が大きく室内にあまり日が差し込まないなど色々悩みがあったと話してくれました。

ありがたいプロの視点

住宅生協との出会いは、奥さまの妹さんが住宅生協の組合員で、「明日家」仕様の家を建てられていたこと、姪っ子の家も住宅生協で建ててもらって見学して良いなど感じていました。奥様はもともと木の香りがするログハウスが好きと言います。「明日家」仕様の家を見学し、とても良いと聞いていたので住宅生協にお願いすることになりました。

相談は、設計士さんが府川の自宅まで何度も訪問して行われました。奥様は、自分たちではこうしたい、ああしたいというものが、なかなか気が付かないので、設計士さんの提案は「とてもありがたいが、希望通りの家になりました」と話してくれました。

玄関から居間に入ると、和室とリビングとダイニングが一体となつて広い空間を演出し、吹き抜けの窓から光が差し込む明るい部屋作りになっています。実際に暮



▲吹抜けのある居間



▲2階吹抜けまわり

らして、陽当たりが良いことと、朝も外が寒いとき室内は昼間のぬくもりが残っているようで温かく感じますと奥さまは話します。さらに奥様のお気に入りが入りが随所に見られます。床一面に敷つめられた無垢材は足さわりが心地良く、

断熱はセルローズファイバーを床・壁・天井に吹き込み、快適な温かい家の環境になっています。また、前の家で使用していた素晴らしい彫刻の欄干が綺麗に磨かれて和室にはめられていました。2階には、四畳半の書斎を設けご主人が使用していた机や趣味の狩猟で捕ったキジのはく製などが飾られています。「感激したのは、曇りの日でも洗濯物が室内に干しておくとも普通に乾くことでした」と語ります。

以前の敷地の半分を立てられた家は、広い庭が生まれました。家庭菜園を趣味に持つ奥さまは、以前近所に土地を借りて家庭菜園を楽しんでいましたが、「これからは、自宅で楽しむことが出来ます」と笑顔で話してくれました。



▲南側外観

さいたま住宅生協の「明日家(あすか)」はこんな家です。川越市白倉邸

●地震に強い家

耐震等級2を実現しています。一般的な計算方法より精密な「許容応力度計算」を行っています。

●シックハウスになりにくい家

内壁はしっくい塗り。昔ながらの建材ですが空気をきれいにしてくれるうえにお手入れも楽々。静電気が発生しないため、アレルギー物質を寄せ付けません。

●あったかい家

セルローズファイバーという、新聞紙を粉碎して壁に吹き込む断熱材を使用しています。壁・床・天井にぎゅうぎゅう詰まっているのでとても暖かく、紙でできているので石油系の断熱材と違い、燃えても有機物質が出ません。ホウ酸を混入しているため燃えにくく、害虫も寄り付きません。

●木の家づくり

構造材は埼玉産の杉を使っています。県の助成金を得て建築しています。長期優良住宅仕様。熟練の大工の手による本物の家です。

●間取りのこだわり

隔当たり・風通しだけでなく、将来の暮らしの変化を視野に入れ、建て主さんの要望と真摯に向かい合います。住み慣れた建て替え前の家の間取りと大きく使い勝手が変わることのないように、なおかつ、さらに家事のしやすい間取りとしました。

●シロアリ対策も

防蟻剤は、ホウ酸でできた「エコボロン」を使用。シロアリは人間と違って肝臓がないため、ホウ酸を分解出来ないのです。死んでしまう前に「食べられないもの」と認識して、逃げ出してしまいます。

●オリジナル造作家具

建物だけでなく、家具も設計しています。お好みシステムキッチンに合わせた使い勝手の良い収納家具も作りました。

●建て主さんに寄り添う家づくり

建て替え前の家に使っていたガラスや欄干などを新居に再利用したい、家族の思いの品を飾るためのスペースを作りたいなど、住まい手さんならではの要望や、照明やカーテンなどコーディネート、生活動線など、いろんなことにこだわって、何度も何度も夢を実現できるように、…これが一番のこだわりです。

地区別総代との意見交換会

さいたま住宅生活協同組合



西部地区
総懇談
代会

住宅生協のブロック会議を開く 初の

住宅生協の認知度を広める 住宅生協の信頼度を高める

西部地区総代懇談会が10月29日(日)午後3時から川越プリンスホテルで開催され、11名の総代が参加しました。今回の地区別懇談会は、昨年の総代会で方針決定された東西南北の地区別懇談会等の開催で、公聴機能の強化の取り組みとして初めて西部地区で開かれました。懇談会は、一問一答形式で行われました。



谷川圭子さん

組合員さんと
小まめな連絡体制を！

谷川圭子総代は、「住宅生協で塗装など過去の仕事を依頼された組合員宅を住宅生協が、点検を兼ねて訪問するのも一つの方法ではないですか。また、今回のように台風直撃の場合、組合員に小まめに電話をかけて、住宅の状況を聞くことは決して押し売りではなく、心配してくれているという関係になるのではないのでしょうか」と意見を述べた。



佐藤修一さん

住宅生協は小さな仕事の
依頼も受けてもらえますか

佐藤修一総代は、「アルミサッシの枠にパッキンがあり

ますが、その取り換えなども依頼できますか」と質問。「住宅生協は高齢の組合員さんが多く、大きな工務店ではかゆいところに手が届かないことも、鍵の交換など些細な悩みにも対応する体制が出来ています。小さな仕事の積み重ねも住宅生協の信用が生まれてくる大切な要素と考えています」と回答しました。



小畑美信さん

過去の依頼工事データと
次期工事依頼のタイミング

小畑美信総代は、「住宅生協で家を建ててもらい20年以上が経過し、その後、外壁塗装、消毒、シロアリ対策などいろいろやってもらっています。過去のデータを通知してもらおうとありがたいです。次期工事内容について共有できる体制があれば、組合員側からも工事依頼ができると思います。また、当初二世帯住宅でし



たが、両親が亡くなり残された家族でどう使うか考えています。そんなとき生協が家族構成を把握し建物に対するアドバイスをするシステムも必要かと思えます」と提案しました。これに対して「住宅生協は、工事データ管理を行っています。工事終了後過去の工事データを基にお知らせするよう努力していきたいと思っています。また、機関誌「快適住まい」では、年に一度全組合員を対象に無料住宅診断を実施し、住まいの点検ということが重要と考えていま

す」また、「住まいのホームドクター制度を目指すためにも「カルテ」を作成して対応していくことが大切だと思います」と説明しました。

一般組合員さんが参加できる
機会はありますか

谷川総代は、「こういう場所です住宅生協の話の聞くところ協いのなと思いが、一般組合員さんが参加できるチャンネルはありますか」との質問に対し、機関誌「快適住まい」を年3回から4回に増やし、より良い情報を提供できるように考えています。今後、組合員さんと直接話せる場を他の生協のように、地区別・班別会議等を実施できるように組織を作る構想を考えていきたいと思います。



ポイント制度と
地区のネットワークづくりを



岩丸郁也さん

岩丸郁也総代は、「今後住宅生協でも、工事額に応じて還元するポイント制度の導入を提案します。また、各地区の事業達成率と今後のネットワーク作りの考えがあれば聞きたいです」と質問しました。ネットワークづくりでは、

け方の問題とか、つけたらどうなるなど検討・研究する必要があります。西部地区は、事業達成率では、総事業高23%と地区別でトップの利用率です。地域において利用の特徴などを宣伝し伸ばしていくことが今後の課題であります」と回答しました。



後藤理事長

最後に

「本日は、大変ありがとうございました。貴重なご意見をいただきました。なかなか住宅生協が認知されない中、今回皆さんと意見交換ができてより住宅生協の事を知っていただけたかと思えます。ただ総代になっていただいて、お願いいたします。住宅生協の中身をご理解いただける機会となったかと思えます。これを機に住宅生協を身近に感じていただき、周囲の方々に紹介していただければ幸いです。今後ともよろしくお願いたします」

2010年以降減少していないシックハウス

国の対策によりシックハウスが少なくなっていると思われています。確かに法律が施行された2003年以降は少なくなっていますが2010年以降は横ばいです。

シックハウスに関しての大きな報道は、2010年7月に新築された衆・参議員会館でこの問題が発生したことです。

報道によると国の指針値を超える物質は検出されませんでした

もし有毒の物質を含んだ空気を、私たちが呼吸によって毎日取り込んでいたとしたら、その空気量は15kg、肺表面積は60-70㎡と広く、吸収効率が良く、肺泡建物内の室内空気質は、私たちの健康や生活の質に大きな影響をあたえるということです。

空気から化学物質を摂取することの危険性は

- ① 空気=摂取する媒体の量が多い…
成人で約15kg
- ② 吸収効率が低い…
肺表面積は60-70㎡
- ③ 直接血流に乗って全身を巡る…
肝臓での代謝が遅れるなどです。

が、揮発性有機化合物(VOC)の総量(TVOC)は、同年8月の時点で朝方は、902~2452μg/m³でシックハウスを起こすのに十分な濃度と報道されました。

シックハウスの原因はホルムアルデヒドだけではなく他の揮発性有機化合物(VOC)ではないかと考えられています。そのためTVOCの総量規制を400μg/m³以下を求められていますが、業界の反対にあっています。

これは国の法規制がホルムアルデヒドだけを規制し、他の物質には規制が無いのです。

国の規制で、ホルムアルデヒドの放散レベルが最も低い基準のF4☆☆☆☆(フォースター)建材で建てられた建物にはシックハウスに罹った人は、症状が出ることもあり中に入れないという話は良く聞きます。

またこの建物に入居してシックハウスに罹かつて裁判を起こしても負けません。

住宅生協では使う建材をVOCの出ない建材を使うことで対策をしています。無垢の床材を使い内装には昔から使われている塗り壁の漆喰を使っています。床(無垢材)・壁(漆喰)・天井(漆喰)を自然素材で施工すると空気環境が違います。

実際に建てた建物を見学して体感してみてください。



住まいの目

○ご飯は美味しい方がよい
高価格の炊飯器が売れているそうです。ご飯は、美味しいのは幸せな気分になりますから、「高価格=美味しい」と思うことも当然かもしれません。でも、意外に安い炊飯器でも美味しく炊ける製品があります。

ウルシヤマ金属工業(新潟市)という会社がつけている、「釜たき三昧」という炊飯器を紹介します。昔から使われている羽釜ですが、普通のガスコンロで使え美味しく炊けるのです(IHは不可)。価格も3号焚きで8千円程度と安く、アルミ製なので、壊れることもなく、掃除も簡単です。

○災害時に使える

さらに災害の時、カセットコンロで美味しく炊けます。炊き方は、沸騰すると蓋が「ガチャガチャ」と鳴り響き、弱火にするタイミングもわかり、最近のガスコンロについての自動炊飯機能も使えます(五徳に合わないこともありますので注文して下さい)。何となくも味が良く、数万円の釜にひけをとらず美味しいのです。災害時の備えだけでなく、美味しく、扱いが簡単で日常的に使え、値段も安いと三拍子揃っています。なお2、3、5号炊きがあり7千から1万円程度です。詳しくはメーカーのホームページで。

住まいの学習講座

日時 2018年2月17日(土) 午後2時から午後5時
 会場 さいたま住宅生協会館 3階
 さいたま市浦和区仲町2-10-12 電話0120-502-817

テーマ 1部 シックハウス対策
 2010年以降減少していないシックハウスの現状
 講師 嘉藤 剛 技術アドバイザー 一級建築士

2部 住まいのリフォーム
 シニア世代のリフォームで大切なこと
 講師 勝見 紀子 技術アドバイザー 一級建築士

入場無料 どなたでも参加できます。
 新築、増改築、リフォームなどをお考えの方無料住宅相談もありますので、ぜひご参加ください。
 講座会場は、組合員・県民の皆様に見て頂くために、床を無垢の板、壁・天井を漆喰の「明日家」仕様にリニューアルしました。他の自然素材も見ることができますので、学習講座と合わせてぜひご見学ください。

創立25周年記念 さいたま住宅生活協同組合 ゴルフコンペの御案内

住宅生協25周年記念コンペを開催することとなりました。多くの組合員皆様の参加をお待ちしています。

日時:2018年3月1日(木)
 場所:児玉カントリークラブ
 住所:本庄市児玉町秋山3012
 TEL.0495-72-7511
 費用:約10000円以内(プレー代、食事代、パーティー代、チャリティー代)
 参加資格:住宅生協の組合員及び住宅生協が招待した来賓の方
 申し込み〆切:2018年2月9日(金)
 FAX、メールで申し込んでください。
 参加定員:20組80名(先着順)
 申し込み先:さいたま住宅生活協同組合 担当 永島
 TEL.0120-502-817
 FAX.048-822-7455
 Mail <http://www.houscoop.or.jp//>

歩山の会 ハイキングのお知らせ 「北秩父・長瀬アルプスから宝登山」

山行 秩父鉄道野上駅～野上峠～宝登山～長瀬駅
 雑木林の尾根道を登り、宝登山北登山口から宝登山へ登ります。山頂から両神山、武甲山などの展望を楽しみ、下山は、斜面を黄色に染めたロウバイを見ながらのゆったりハイクです。下山後は温泉でからだを癒し、親睦を深めます。

日程 2018年2月24日(土)
 集合場所 秩父鉄道野上駅 9時30分集合
 募集人数 定員 15名
 交通 電車を利用します。

参加についての問い合わせは
 さいたま住宅生協事務局
 電話0120-502-817
 お気軽にお問合せ下さい。



さいたま住宅生協組合員は団体掛金が適用となります

全労済のマイカー共済

自動車総合補償共済

インターネットで簡単お見積もり

さいたま住宅生協 HP ▶ 全労済マイカー共済 ▶ 協力団体専用マイカー共済掛金試算ページ

ログインID: 1134842 パスワード: zz34842



1116A049 ZENROSAI NEWS

全労済 埼玉県本部

全労済共済生活協同組合連合会 (埼玉労働者共済生活協同組合)

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

(お問い合わせ)
 全労済 埼玉県本部 組織法人課
 さいたま住宅生協係まで
☎048-822-0648
 月～金: 9時～17時 (祝日・年末年始を除く)

葬儀・仏事のことは全てサポートいたします。ご使用になられた以外の請求は致しません。ご安心の明細会計です。

家族葬

一般葬

親族葬



0120-37-0631

ご相談受付 午前9:00～午後5:00 緊急連絡24時間受付中

逝く人に家族と同じ心づかい
 葬祭奉仕センター

(有)蓮浄社

〒330-0056 さいたま市浦和区東仲町8-19
 電話048-886-5118 FAX048-881-2545
 [厚生労働省認定・一級葬祭ディレクター店]

母の暮らし大切に

TVで分り易く、

細かいチェックが印象に

秩父連山と田畑が目の前に広がる、風光明媚でのどかな秩父市蒔田の根岸邸。150年続いた大きな農家の母屋を解体して、90歳



▲母屋の建具を使った居間



▲南側外観



住まいをもち、仕事の関係で、現在は群馬県北軽井沢にマンション住い。事あることに通っているそうです。

住宅生協との出会いは、住宅生協の仕事がテレビで紹介されていたのを見て、細かい所までチェックし説明するところに感心、それが印象に残っていて今回住宅生協に依頼したと息子さんは語ります。

母がすぐ馴染めるように

住宅生協との窓口は息子さん。母のために、息子さん自ら間取りを設計し、母のためへの思いやりがあちらこちらに尽くされています。

玄関を入ると無垢の木が一面に敷き詰められたリビング、仕切りのドアも無垢の木を使用し、木の香りが漂う落ち着いた雰囲気をつくり出します。おばあちゃんの居間は以前住んでいた部屋と同じつくりにし、建具は母屋で使用していた秩父の名品手作りガラスの格子戸をそのまま使い、おばあちゃんが大切にしている神様を奉る神棚を設けました。四畳半の寝室の窓越しから眺める秩父連山は、まるで絵画の世界、四季折々の風景が楽しめます。

最後に住宅生協と窓口になった息子さんに感想を伺いました。「おおむね希望通りに仕上がりました。ただ残念なのは、施主とのコミュニケーションをもっととって欲しかったと思います。」と、語っていました。

90歳を迎える根岸おばあちゃん、まだまだ畑仕事をこなす元気なおばあちゃんでした。